



K邸

協力業者から「家を解体するために古家を切り離してほしい」と相談されたことから話が始められました。敷地内には解体する築100年の家、2棟の増築した平屋があり、三つの家が複雑につながっているためどこで切り離すか考えるため、何度かお宅に伺っているうちに「古家を壊した後はどうやって生活するのですか」と話をしていた新築となりました。

工事中は築30年の家で仮住まいできるようにしてから、解体する古家と2棟の切り離し、解体工事、新築工事の後、仮住まいの家に玄関を作り、カーポートを作りました。話を伺ってから1年半、工事に掛かって約1年掛かりました。

新築の家は玄関棟、プライベート棟、パブリック棟の三つに分かれています。建物の形状が短辺に対し長辺が2倍を超え、細長すぎる形のために各棟を別々に計算してOKとし、全部合わせて計算してもOKとなるようにしました。結果、かなり多くの耐力壁を入れています。

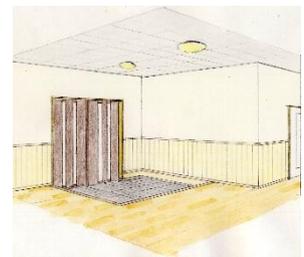
ポーチ

玄関棟はガルパニウム横葺き、両側の棟は瓦葺きの屋根にしました。玄関引違い戸の両側は桧張り、玄関庇も桁より前は化粧垂木にしました。



玄関

ポーチの壁、軒の桧材つながりで玄関も桧の腰板を張りました。外から玄関に入ると「ふわっ」と桧の香りがします。



LDK

約26畳の広さ、施主さんの要望で掘こたつを設置しました。夏は同じ床材でフタをすれば、フラットの床になります。

東南に向いているため2面採光で明るいリビングになっています。



和室

広縁、床の間、仏間を設けた和室。
LDK との境は和室から見ると襖、LDK
から見ると板戸の源氏襖にしました。



源氏襖
上和室から見る
下LDから見る

寝室

よく眠れるように桧の腰板を張り
ました。木の香りは、副交感神経を活
性化させます。副交感神経は、体を緊
張から解きほぐし休息させるように働
く神経です。



トイレ、洗面、 浴室

トイレの腰板は汚れても水拭きできる
材料
洗面は3畳の広さ



写真の椅子はプレゼント



納戸、収納

6畳の広い納戸、棚二段。写真左手前
の棚がない場所は家具置き場
玄関収納は姿見付き高さ



収納
左は寝具、右はハンガー



姿見付き玄関収納

